

令和5年1月大雪対応の検証報告書

令和5年12月

京都府危機管理部災害対策課

目 次

はじめに	P2
第1章 気象の概況・大雪による影響	P3
1 気象の概況	
2 積雪状況	
3 被害状況	
第2章 課題と今後の対応策	
1 府の警戒体制整備について	P9
・雪害対策本部(支部)の設置基準の見直し	
2 帰宅困難者対策について	P10
・府、市町村、鉄道事業者における連絡系統の確立	
・帰宅困難者発生の抑制	
・市町村との連携や民間事業者との災害時応援協定に基づく一時滞在施設等の確保	
・市町村区域を跨いだ一時滞在施設の広域調整	
・災害備蓄物資(水、食料、毛布等)の提供、一時滞在施設等への帰宅困難者の誘導・搬送	
・一時滞在施設へ徒歩で移動する場合の道路の除雪対応	
3 孤立集落対策について	P12
・道路等のインフラ重要度に応じた倒木対策(孤立危険個所の事前伐採等)	
・インフラ事業者と道路管理者との連携強化による早期倒木処理及び啓開	
・水、食料、毛布、石油ストーブ等の提供等	
4 道路立ち往生対策について	P14
・府、市町村、近畿地方整備局、近畿運輸局及び西日本高速道路株式会社等の関係機関による支援体制の構築	
5 その他	P14
・農産物や農業用施設の被害防止	

<参考資料>

- 1 JRでの列車立ち往生に係る各機関防災担当における対応経過
- 2 孤立集落に係る対応経過
- 3 令和5年1月24日からの大雪等に係る輸送障害の状況
- 4 令和5年1月28日からの大雪等に係る倒木による停電の状況

はじめに

令和5年1月に京都府では中部・南部を中心に、10年に1度の寒波に見舞われた。

近畿地方では、1月24日から強い冬型の気圧配置となり、例年になく降積雪によりJR京都線等で鉄道輸送障害が発生し、22本の列車が立ち往生した。また、28日には、南丹・京丹波を中心に倒木によって道路が通行不能となり「孤立集落の発生」、新名神高速道路において降積雪による「車両の立ち往生」等の事象も発生した。

京都府では、地域防災計画に基づき、気象災害における災害警戒本部の設置などを定め、災害対策を実施している。

前述の事象において、府の対応が万全であったか、これまで鉄道事業者、インフラ事業者、市町村等と協議を進め、初動体制のあり方、帰宅困難者が発生した場合の一時滞在施設や一時滞在場所の確保、倒木の早期処理や道路の啓開について検討を行ってきた。

本報告書は、府民の安心・安全を確保するため、今回の大雪で浮き彫りとなった課題を検証し、必要となる対策を整理して、今後の府、市町村及び関係機関による対策の方向性をとりまとめるものである。

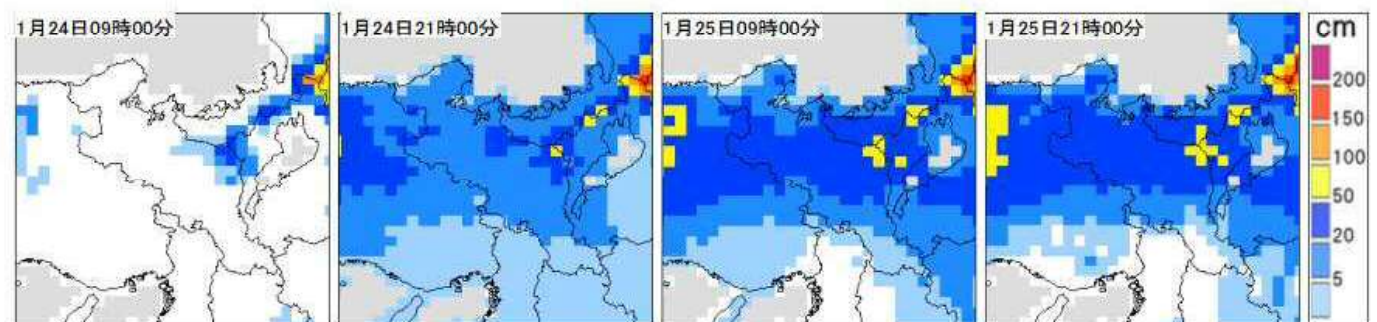
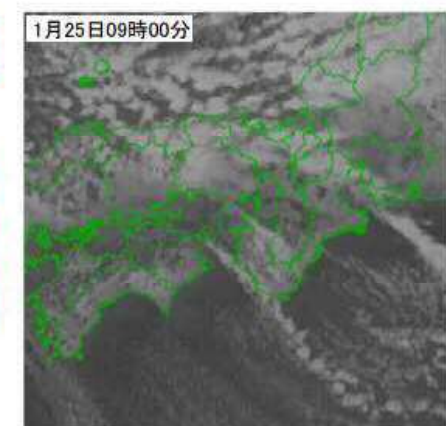
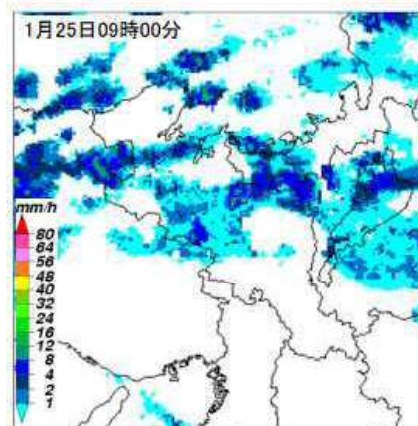
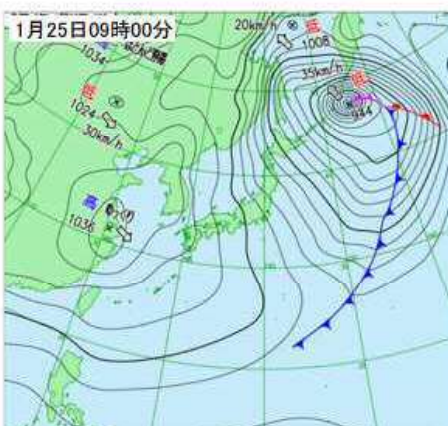
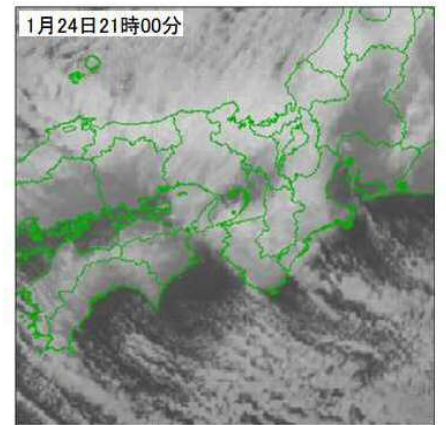
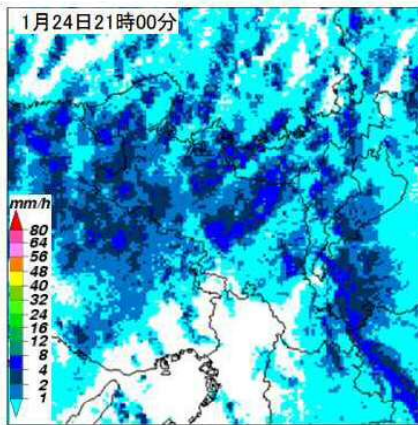
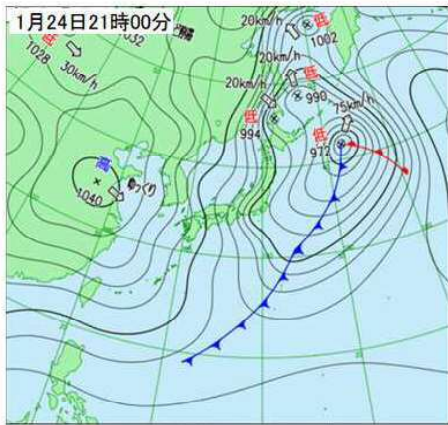
令和5年12月

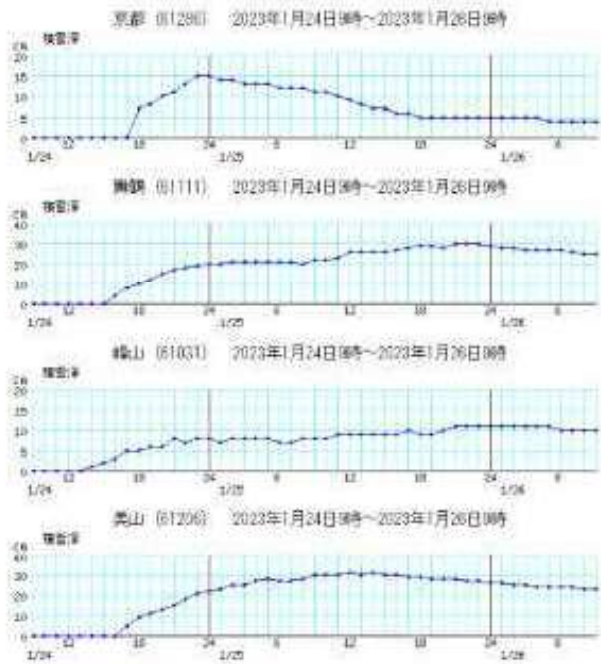
第1章 気象の概況・大雪による影響

1 気象の概況

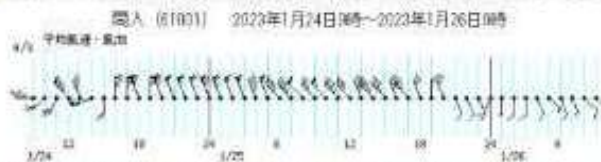
令和5年1月24日から25日にかけて、近畿地方の上空約1,500メートル付近に、氷点下12度以下の寒気が流れ込み、日本付近は強い冬型の気圧配置となった。京都府では、24日から25日にかけて大雪となり、京都市中京区では24日に15センチの最深積雪を観測した。また、北部を中心に強風が吹き、京丹後市間人では18.1メートルの最大風速を観測した。

※京都地方気象台「気象速報」から抜粋

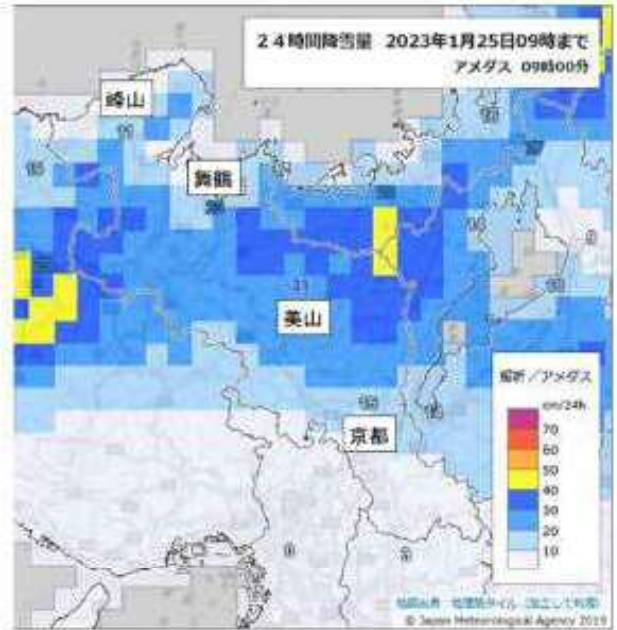




アメダス時系列グラフ【積雪深(1月24日09時~26日09時) (単位: cm)】
 ※各観測地点における横軸は時刻を示す。折れ線グラフは積雪深を示す(左軸)。



アメダス時系列グラフ【平均風向風速(1月24日09時~26日09時) (単位: m/s)】
 ※観測地点における横軸は時刻を示す。
 矢羽根は向きが風向、羽が風速を示す(左軸)。

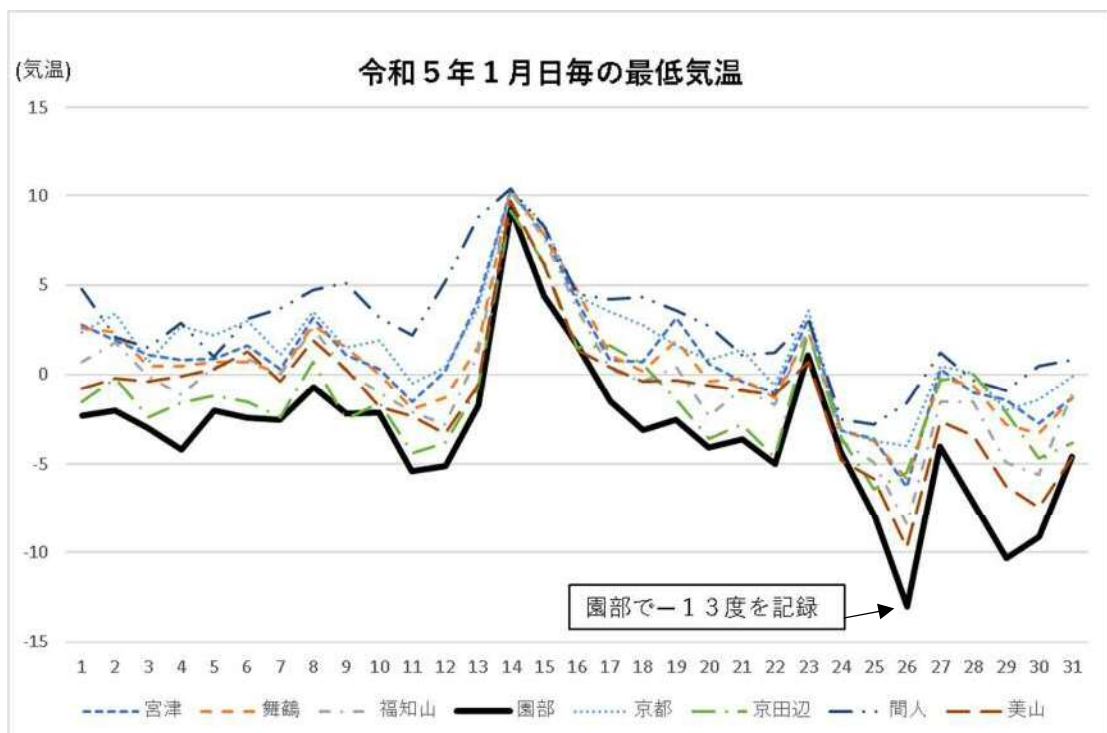


観測所名

京都市中京区 (京都地方気象台)	15
舞鶴	23
京丹後市峰山	11
南丹市美山	31

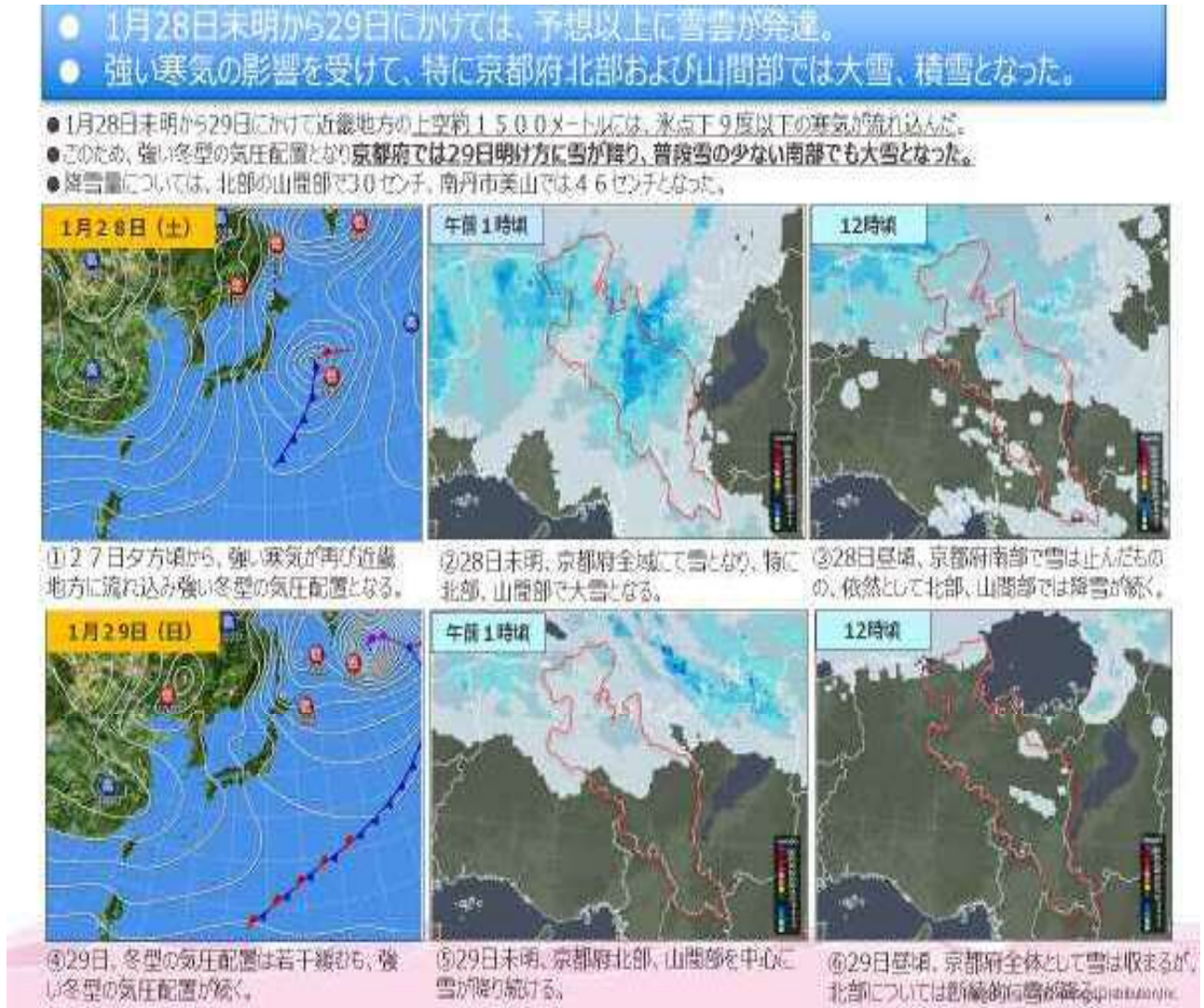
1月25日09時までの24時間降雪量
 【解析降雪量とアメダス降雪量 (単位: cm)】

令和5年1月26日に園部観測所では氷点下13度を観測するなど、26日から27日にかけて低温状態が続いた。



令和5年1月28日から29日にかけては、近畿地方の上空約1,500メートル付近に、氷点下9度以下の寒気が流れ込み、近畿地方では再び強い冬型の気圧配置となった。京都府では、29日にかけて大雪となり、南丹市美山では46センチの降雪量を観測した。

関西電力送配電(株)提供資料から抜粋



2 積雪状況

(1) 主な積雪深

- 府内観測点78箇所のうち、警戒積雪深を超えた地点 3箇所
 - 綾部市川糸: 42cm (警戒積雪深30cm)
 - 南丹市美山町安掛: 98cm (警戒積雪深60cm)
 - 京丹波町質志: 65cm (警戒積雪新50cm)

(2) 大雪警報の発表状況

発表時刻	対象市町村(新規発表のみ)	大雪注意報への切替状況
1月24日(火) 15:06	京都市、福知山市、綾部市、舞鶴市、南丹市、京丹波町	1月25日(水) 04:06(山城管内) 10:18(京都市、南丹、中丹管内)
1月24日(火) 18:30	亀岡市、向日市、長岡京市、大山崎町、宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、宇治田原町、木津川市、笠置町、和束町、精華町、南山城村	
1月28日(土) 02:26	京都市、綾部市、南丹市、京丹波町	1月28日(土) 15:50
1月28日(土) 07:05	福知山市	

3 被害状況

(1) 人的被害・住家被害

令和5年 1月24日 ～25日	人的被害	○負傷者 108名 うち重傷者 1名 福知山市 50代女性骨折(スタック解消中の事故) うち軽傷者 107名 京都市 92名(転倒等) 宇治市 8名(転倒) 久御山町 6名(転倒) 綾部市 1名(住宅の壁倒壊による負傷)
	建物被害	綾部市 住宅一部破損 1棟
令和5年 1月28日 ～29日	人的被害	○軽傷者 33名 京都市 22名(転倒等) 綾部市 2名 亀岡市 6名 南丹市 2名 京丹波町 1名
	建物被害	なし

(2) 孤立集落

令和5年 1月28日 ～29日	6集落 京丹波町仏主、南丹市美山町佐々里・白石、南丹市美山町音海、南丹市日吉町中世木牧山、綾部市睦寄町古屋
-----------------------	--

(3) 道路規制状況

令和5年 1月24日 ～25日	高速道路	全面通行止め 6箇所 (京都縦貫自動車道、京奈和自動車道、京滋バイパス、 第二京阪道路、新名神高速道路、舞鶴若狭自動車道)
	直轄国道	全面通行止め 4箇所(国道1号、国道24号) 通行止め 1箇所(国道9号) <冬用タイヤ未装着車>
	府管理道路	全面通行止め 4箇所 (国道175号、国道307号、主要地方道宇治木屋線他) 片側交互通行 6箇所(国道173号、国道175号、国道176号他)
令和5年 1月28日 ～29日	高速道路	全面通行止め 5箇所 (京都縦貫自動車道、山陰近畿自動車道、舞鶴若狭自動車道)
	直轄国道	全面通行止め 2箇所(国道1号、国道9号)
	府管理道路	全面通行止め 19箇所 (国道162号、国道173号、主要地方道舞鶴和知線他) 大型車通行止め 1箇所 (主要地方道舞鶴和知線他)

(4) 交通機関運休状況

令和5年 1月24日 ～25日	JR西日本	6路線(琵琶湖線、京都線、関西線、嵯峨野線、学研都市線、 奈良線)
	WILLER TRAINS	2路線(宮津線、宮福線)

【JR西日本電車内及び駅で滞留を余儀なくされた人の状況】

- ア 立ち往生した列車内から救急搬送された傷病者 16名
イ 京都線において電車内及び駅で滞留を余儀なくされた人

場所	滞留者数(人)
山科駅	200
山科駅～京都駅	2,200
京都駅～西大路駅	745
西大路駅～桂川駅	1,645
桂川駅～向日町駅	640
向日町駅～長岡京駅	600
山崎駅～島本町駅	850
合計	6,880

ウ 嵯峨野線において電車内で滞留を余儀なくされた人 約650人

場所	滞留者数(人)
園部駅	120
亀岡駅	120
嵯峨嵐山駅	100
円町駅	50
二条駅	100
丹波口駅	80
梅小路京都西駅	80
合計	650

(5) ライフライン

令和5年 1月 24 日 ～25日	停電(関西電力)	京丹後市 約120軒
令和5年 1月 28 日 ～29日	停電(関西電力)	京都府域全体: 13,265 軒 京都市: 1,364 軒 (右京区 660 軒、左京区 248 軒、北区 456 軒) 福知山市: 2,305 軒 綾部市: 664 軒 京丹後市: 1,253 軒 南丹市: 4,591 軒 船井郡京丹波町: 2,911 軒 与謝郡与謝野町: 177軒
	断水	船井郡京丹波町:10軒以上

(6) 農林水産関係

令和5年 1月 24 日 ～25日	農作物等の倒伏	559アール
	農業関係施設(パイプ ハウスの破損)等	153棟
	倒木	187箇所

第2章 課題と今後の対応策

1 府の警戒体制整備について

○雪害対策本部(支部)の設置

- ・1月24日から的大雪においては、「10年に1度の寒波」という報道があり、近畿地方では29日にかけて強い冬型の気圧配置となり、京都府は大雪警報の発表に伴って通常の災害警戒本部を設置し、夜間や休日における警戒体制をとっていたが、「JRでの列車立ち往生」、南丹・京丹波地域を中心に倒木によって道路が通行不能となったことに伴う「孤立集落の発生」等の事象が発生し、被害状況の収集、伝達、報告が円滑に実施できない事例があった。
- ・南丹広域振興局では、地方雪害対策本部の設置基準のうち、積雪深を元に本部を設置することとしていたため、事前の本部設置に至らず、1月28日から的大雪においては、京丹波町の災害対策本部設置に伴い本部を自動設置したが、道路啓開が遅れ、孤立集落解消に時間を要した。(南丹土木事務所管内で11地点中、2地点(南丹市美山町安掛:98cm[警戒積雪深60cm]、京丹波町質志:65cm[警戒積雪深50cm]))
- ・また、南丹広域振興局管内での倒木箇所は、孤立集落に係る府道沿線だけでも最大で100箇所程度あり、道路通行止めや道路啓開のため、1月28日に12名、29日に19名に本部要員を増員し、対応を図ったが、大雪による交通遮断により、あらかじめ定める職員の参集が困難な状況であった。

課 題	○雪害対策本部(支部)の設置基準の見直し					
今後の対応	<p>本庁及び広域振興局の警戒体制の設置基準を積雪深によるものから気象予警報に基づくものに見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大雪注意報が発表された段階から本庁と広域振興局に雪害警戒本部及び支部を設置し、早期の警戒体制を整備するとともに、大雪警報発表時は警戒体制を強化する。 ・また、降雪による車両の通行支障、列車の運行支障又は孤立集落の発生、若しくは発生のおそれがあるときは、本庁と広域振興局に雪害対策本部及び支部を事前設置する。 					
	見直し前					
	大雪注意報	大雪警報		警戒積雪深 (管内1/2超過)	地方雪害対策本部 設置後、必要に応じて	災害救助法 適用
		災害警戒 本部・支部		地方雪害対策本部 (広域振興局)	雪害対策連絡本部 (本庁)	災害対策 本部・支部
	↓					
	見直し後					
	大雪注意報	大雪警報	道路、鉄道の運行障害、 孤立集落発生のおそれ	警戒積雪深 (管内1/2超過)	地方雪害対策本部 設置後、必要に応じて	災害救助法 適用
	雪害警戒 本部・支部	体制強化 (増員)	雪害対策 本部・支部	廃止		災害対策 本部・支部

2 帰宅困難者対策について

- ・大雪により発生した交通遮断やJR西日本における鉄道輸送障害により、京都線において電車内及び駅で滞留を余儀なくされた人が 6,880 名発生した。また、嵯峨野線において電車内で滞留を余儀なくされた人が 650 名発生した。
- ・また、JR西日本における鉄道輸送障害の復旧の遅れにより、駅間停車両の旅客救護、誘導に長時間要し、体調不良を訴える旅客 16 名が救急搬送された。
- ・JR西日本では、気象会社から提供された気象予測により大規模な輸送障害は発生しないとの判断から、事前の対策本部設置には至らず、多数の分岐器不転換が発生したことにより対応能力を超える状況に陥り、駅間停車解消の見通しの策定や適切な情報発信ができなかった。このため、府をはじめとする防災関係機関においても正確な情報入手が困難であった。
- ・京都市は、国土交通省のライブカメラ、インターネットやSNS、京都駅や山科駅への職員派遣により情報収集に努めたが、JR西日本と連絡が取れない中、正確かつ詳細な情報を得ることが困難であった。1月25日午前0時以降、JR西日本から初めての連絡があるとともに、JR西日本からリエゾン職員の派遣があり、時間の経過とともに、徐々に列車の停止状況や列車内に滞在を余儀なくされた乗客の状況等が判明した。
- ・京都市、長岡京市は、大雪かつ深夜である状況を踏まえ、列車からの降車後の旅客の身の安全を確保するため、JR西日本各駅における帰宅困難者発生を想定した一時滞在施設及び一時退避場所(以下、「一時滞在施設等」という)を確保していた。
- ・京都市は、京都駅周辺で8施設約 800 人分の一時滞在施設を早急に確保した。(列車ホテルで対応可能となったため、実際の開設はなし)。また、山科駅周辺では一時滞在施設がないことから、急遽、公共施設であるアスニー山科や地下鉄連絡通路を一時滞在施設等として開放し、約 450 名を受け入れた。
- ・京都市は、地下鉄京都駅に滞留した方に対し、簡易毛布 540 枚、飲料水 288 本、食料 100 食が配布した。また、山科駅では簡易毛布 1,500 枚、更に災害用自動販売機を開放し、飲料 100 本を配布した。
- ・京都市消防局は、山科駅周辺の駅間停車両から体調不良の旅客9名を救急搬送し、その後直ちに要配慮者など 183 名を山科駅まで搬送した。また、雪かき・融雪剤による歩行ルートを確保し、一般道を消防局車両の往復により搬送した。
- ・長岡京市は、駅前の官民複合施設を一時滞在施設として事前に確保していた。(列車ホテルで対応可能となったため、実際の開設はなし)
- ・南丹市では、JR西日本と連絡が図れず、帰宅困難者の情報入手ができなかった。

課 題	<ul style="list-style-type: none"> ○府、市町村、鉄道事業者における連絡系統の確立 ○帰宅困難者発生の抑制 ○市町村との連携や民間事業者との災害時応援協定に基づく一時滞在施設等の確保 ○市町村区域を跨いだ一時滞在施設等の広域調整 ○災害備蓄物資(水、食料、毛布等)の提供、一時滞在施設等への帰宅困難者の誘導・搬送 ○一時滞在施設等へ徒歩で移動する場合の道路の除雪対応
-----	--

<p>今後の対応</p>	<p>(1) 府、市町村、鉄道事業者、関係団体等との連絡系統の確立</p> <p>鉄道事業者は、常に運行状況を把握し、運休、大幅な遅延等が発生した場合は案内放送等により速やかに乗客等に周知するとともに、府、関係市町村と情報共有を図る。</p> <p>(2) 鉄道事業者等との大雪時における安全確保のためのガイドラインの作成・共有</p> <p>府は、大雪による鉄道の運行障害発生から、除雪体制等の強化、旅客の安全確保、代替交通手段の確保、各種情報提供、防災機関との連携、被害の復旧等についての作業フローや連絡網を作成し、鉄道事業者や市町村と大雪時における安全確保のためのガイドラインを共有する。また、帰宅困難者に対する一時滞在施設等の確保、備蓄物資提供等に係る連携体制を構築する。</p> <p>① 帰宅困難者発生の抑制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府は、市町村等と連携して帰宅困難者の発生を抑制するため、「むやみに移動を開始しない」という基本原則をSNS、防災・防犯情報メール、京都府HPなどあらゆる手段を用いて広報する。 ・鉄道事業者は、異常降雪時に運休した場合においても、可能な限り部分的な運行再開を実施するよう努める。 <p>② 一時滞在施設等の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道事業者は、駅構内、列車内を一時滞在場所として開放する。 ・府は、市町村と連携し、公共施設や民間の集客施設を一時滞在施設等として開設する。 ・府は、京都府旅館ホテル生活衛生同業組合との「災害等の発生時における宿泊施設提供等による支援協力に関する協定」に基づき、帰宅困難者に対する一時滞在施設等の確保に努める。 <p>③ 一時滞在施設等の広域調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府は市町村と連携し、市町村区域を跨いだ一時滞在施設等の広域調整を行う。 <p>④ 災害備蓄物資(水、食料、毛布等)の提供等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府は、市町村及び鉄道事業者と連携して以下の一時滞在施設等への災害備蓄物資提供を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ア 鉄道事業者が開設した駅構内及び列車内の一時滞在場所 イ 市町村が開設した公共施設や民間の集客施設等 ウ 府が締結した民間事業者との災害時応援協定に基づき開設した旅館・ホテル等の宿泊施設 ・府は、市町村及び鉄道事業者と連携して、一時滞在施設等への帰宅困難者の誘導・搬送を行う。 <p>⑤ 避難道路の除雪対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府は市町村と連携して、体調不良者の搬送や要配慮者などが円滑に避難できるよう、避難道路の除雪に努める。
--------------	--

3 孤立集落対策について

(1) 倒木の恐れがある立木の事前伐採等

- ・大雪に伴う電柱倒壊、倒木による断線により 13,265 軒において停電が発生した。
- ・大雪に伴う倒木により、多くの道路が通行不能となり、6集落が孤立した。
- ・大雪や暴風時の倒木が増加しており、背景に林業に携わる人の高齢化、材価の低迷、相続者不明等による手入れが不十分な森林の増加が挙げられる。

課 題	○道路等のインフラ重要度に応じた倒木対策(孤立危険個所の事前伐採等)
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・府は、市町村、電気事業者及び電気通信事業者と連携し、事前に電気施設に関わる倒木危険箇所を把握し、倒木により電気供給網、通信網に支障が生じることへの対策として、道路等のインフラ重要度に応じて、電柱の移設、事前伐採等による予防保全を進める。 ・道路管理者は、倒木を原因とする交通等への障害を生じさせないため、自らが管理すべき区域内において、平時から立木伐採等を行う。 ・電力事業者及び電気通信事業者は、倒木を原因とする停電等を防止するため、府及び市町村と協力し、平時から倒木のおそれがある立木伐採等に努める。 ・府は、市町村と連携し、林業者等に対する適切な間伐、枝打ち等の指導を行う。

(2) 早期倒木処理及び道路啓開

- ・大雪に伴う倒木、電柱倒壊、断線が同時多発的に発生したが、道路管理者、電力事業者及び電気通信事業者間で事前に災害発生時の緊急連絡先の確認が十分行われていなかったことや、降積雪に加え、被害箇所の位置を特定する共通認識がなかったことから現地到着が遅れた。また、感電等の二次災害を生じない倒木撤去作業に時間を要したことから道路啓開が難航した。
- ・大規模停電の復旧と孤立集落解消という観点において、電力事業者と道路管理者とで、除雪を必要とする路線が異なることから効率的な道路啓開が実施できなかった。
- ・低温下、夜間時における倒木処理や道路啓開について、作業員の安全性の確保が困難であった。
- ・現地調査のため、電力事業者によるスノーモービルの公道利用について、道路管理者、警察との利用調整に時間を要した。
- ・除雪が間に合わない箇所は、塩化カルシウムの融雪剤を緊急使用し、道路啓開を行った。

課 題	○インフラ事業者と道路管理者との連携強化による早期の倒木処理及び道路啓開
今後の対応	<p>道路管理者、電力事業者及び電気通信事業者等の連絡体制、倒木処理及び道路啓開について、大雪時における安全確保のためのガイドラインを作成し共有する。</p> <p>① 同時多発時の優先順位付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路管理者、電力事業者及び電気通信事業者等は連携し、除雪路線の優先順位を決定する。 <p>② 安全で効率的な道路啓開方法の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路管理者、電力事業者及び電気通信事業者等は連携し、電柱施設管理番号による迅速な対策箇所的位置特定方法の確立、早期道路啓開の方法を策定する。 ・道路管理者、電力事業者及び電気通信事業者等は連携し、道路啓開作業において二次災害が生じないように、できる限り夜間作業を避けつつ、感電防止対策を十分行いながら孤立解消を図る。 <p>③ 融雪剤の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路管理者は、早期道路啓開を図るため、融雪剤として使用する塩化カルシウムの備蓄に努める。

(3) 災害備蓄物資の提供等

- ・南丹市4箇所、京丹波町、綾部市の計6箇所が孤立集落が発生した。
- ・南丹市及び京丹波町では消防団員等により集落各世帯の安否確認、支援物資(飲料水や燃料)の配付が行われた。
- ・京丹波町では、集会所に2名が避難され、消防団員1名が付き添われた。
- ・停電のため、オール電化住宅では、暖をとることができなかった。
- ・停電のため、南丹市、京丹波町では電気事業者が電源車で送電を行い、電気事業者が用意したポータブル発電機を南丹市が集落へ搬送する箇所もあった。

課 題	○水、食料、毛布、石油ストーブ等の提供等
今後の対応	<p>府は、孤立集落発生時の対応について、大雪時における安全確保のためのガイドラインを作成し、市町村と相互に連携して取り組む。</p> <p>① 孤立集落への安否確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府は、市町村と連携し、大雪時に孤立するおそれのある地区について、事前に地区の世帯数及び人数、備蓄食糧や燃料等生活物資保有状況等の実態把握に努める。 ・また、孤立地区の住民との連絡体制を確保できるよう、通信手段の確保に努める。 <p>② 避難所等における備蓄物資の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・停電時に備えて、避難所等における寒さ対策に係る災害備蓄物資の充実に努

	める。(例:石油ストーブやガスストーブ、石油やLPガス、自家発電機等) ③ 停電の仮復旧 ・電力事業者は、停電の仮復旧のための電源車の配置にあたっては、復旧見通し及び仮復旧箇所の重要性・緊急性を考慮した上で、府及び関係市町村と協議して配置する。
--	--

4 道路立ち往生対策について

- ・京都府内では大雪による高速道路及び並行する直轄国道の通行止めにより、交通混乱が生じた。
- ・鉄道が運行休止し、車両運行が代替手段となったが、迂回路、渋滞、通行規制解除の見通しなどの情報が関係機関で共有されていなかった。
- ・滋賀県では新名神高速道路で渋滞が発生し、25日4時頃には新名神草津 JCT を先頭に菟野 IC 付近まで約 32 キロにわたり滞留し、除雪車両による道路除雪作業が困難になった。

課 題	○府、市町村、近畿地方整備局、近畿運輸局及び西日本高速道路株式会社等の関係機関による支援体制の構築
今後の対応	・府は、関係機関と連携して「不要不急の外出は控える」呼びかけを道路交通情報システム、SNS、HPなどあらゆる広報媒体を用いて行う。 ・関係機関相互で、車両の滞留状況や開放の見通し等に関する情報共有を図る。 ・積雪に伴う大規模な立ち往生が発生し、滞留車両の開放に長時間を要する場合において、関係機関による滞留車両の乗員に対し救援物資の提供や一時避難施設の確保等の支援体制を構築する。

5 その他

農林水産関係では、農作物の倒状、パイプハウスの破損などの被害が生じた。

課 題	○農産物や農業用施設の被害防止
今後の対応	府は、市町村と連携し、農業者に対しパイプハウスの天井を支える支柱、暖房装置や燃料等の点検等を行うよう指導・啓発する。

(参考1) JRでの列車立ち往生に係る対応態勢

年月日	気象情報の発表状況	西日本旅客鉄道㈱	京都府の活動状況	市町の活動状況
2023年1月20日	【報道発表】 24日から寒気により大雪のおそれ			
2023年1月23日	【報道発表】 大雪に関する緊急発表 ～急を要しない外出は控えください～ 24日から25日頃にかけて、…京都府…を中心に大雪となるおそれ	輸送対策室設置9:00(近畿総合指令所) 輸送対策室継続 →対策本部設置はしない旨決定 (雪の影響によるダイヤの乱れ) 亀岡駅にて列車停車(17:30) 向日町駅不転換発生(19:00)、列車駅間停車 山科駅分岐器不転換発生(19:36)、列車①駅間停車 旅客数要請①乗務員一対策室(20:03) 列車①旅客体調不良者確認(20:12～20:52) 京都駅分岐器不転換発生(20:15)、列車駅間停車 駅間停車列車の最寄り駅への収容開始(20:50) 対策本部設置(22:25) 京都府の消防署へ出動要請[京都駅→京都市](22:30) 駅間旅客降車を一部決定(22:50) 旅客降車開始(22:50) 京都市へ「体調不良者を列車から降車させている」と連絡(23:30)	【知事記者会見】(1/23 11:15) 大雪に関する注意喚起 【災害警戒本部設置】(9:56) (波浪警報による)基本配備 【災害警戒本部】基本配備2名を14名に増員(17:15) 市町へ列車駅間停車の情報発信 (JRへ再三連絡を試みるものの、繋がらず、京都市と随時連絡)	【京都市災害対策本部設置】(15:06) 【長岡京市災害警戒本部設置】(18:30)
2023年1月24日	【大雪注意報】(9:56)府全域 【大雪警報】(15:06)京都市、南丹市、京丹波町、舞鶴市、福知山市、綾部市 【大雪警報】(18:30)亀岡市、向日市、長岡京市、大山崎町、山城中部、山城南部	京都市へ「大雪警報から大雪注意報への切り替え等を段階的に実施	長岡京市へ「JR長岡京駅周辺で一時滞在施設の確保可能か」連絡(0:30) (京都市へ随時、状況確認、支援に関する調整連絡)	【京都市では帰宅困難者対応班招集】(22:20) 京都市では出勤受理[京都市→京都駅](22:30) 京都市は京都駅及び山科駅に職員派遣(22:30) 京都市消防局から府へ「JR列車の立ち往生発生」を連絡 京都市消防局が活動開始(23:37) 長岡京市はJR長岡京駅及び周辺を調査し、京都市へ「一時滞在施設の開設不要」と連絡(0:40) 京都市は地下鉄京都駅で540枚の簡易毛布配布(0:30) 京都市は京都駅周辺の一時滞在施設(協定締結施設)に開設可否の連絡調整を開始(0:45) 京都市は一時滞在施設8施設、約800人分の提供が可能と集約(2:00) 京都市はアスニー山科での受け入れ開始(2:10) 京都市は地下鉄山科駅の災害用自動販売機を開放(3:40) 京都市はアスニー山科が定員に到達したため、地下鉄山科駅連絡通路へ誘導開始(3:45) 【長岡京市災害警戒本部閉鎖】(4:06) 京都市はアスニー山科・駅連絡通路の一時滞在者に簡易毛布1500枚への配布完了(4:15) 京都市は開設可能な一時滞在施設に対応不要の連絡(4:30) 京都市消防局部隊が現場から撤収(5:35)
2023年1月25日	この間、大雪警報から大雪注意報への切り替え等を段階的に実施	京都市へ「一時滞在施設の確保などの協力要請(0:08) 京都市へ「西大路駅での自治体協力は不要だが、京都駅については調整中」と連絡(1:50) 京都市へ「一時的に退避する施設の確保などの協力を願います」と要請(2:00) 京都市へ「京都駅については列車ホテル計1000人分を確保」との連絡(2:40) 京都市へ「京都駅に列車ホテルで対応可能」と連絡(4:25) 旅客降車完了(5:30)	長岡京市へ「災害警戒本部」基本配備14(2+12)名を17名に増員(3:00)	【京都市災害対策本部閉鎖→災害警戒本部設置】(10:18) 京都市はアスニー山科を閉鎖(12:40)
9:00				
10:00	【大雪警報解除】10:18			
11:00				
12:00				

(参考2) 孤立集落に係る対応経過

年月日	気象情報の発表状況	京都府の活動状況	市町村の活動状況	関西電力送配電機
2023年1月27日	<p>【報道発表】 1月27日から29日にかけて大雪のおそれ</p> <p>15:00</p> <p>15:07 【大雪注意報】 (15:07)京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、亀岡市、向日市、長岡京市、京丹後市、宮津市、南丹市、大山崎町、京丹波町、伊根町、与謝野町</p> <p>2:26 【大雪警報】 (2:26)京都市、綾部市、南丹市、京丹波町</p> <p>4:00</p> <p>6:00</p> <p>8:30</p> <p>11:30</p> <p>10:35 【大雪注意報解除】 (10:35) 綾部市、福知山市、亀岡市、向日市、長岡京市、大山崎町</p> <p>13:30</p> <p>15:45</p> <p>15:50 【大雪警報→注意報】 (15:50)京都市、南丹市、京丹波町、綾部市、福知山市</p> <p>17:00</p> <p>18:40</p> <p>19:35</p> <p>23:02 【大雪注意報解除】 (23:02)京都市、南丹市、京丹波町</p>	<p>【災害警戒本部設置】基本配備(2:26)</p> <p>【(主)舞鶴和知線(京丹波町) 運行止(御木)】 (4:00)</p> <p>【(主)京都河原美山線 運行止(御木)】 (6:00)</p> <p>【災害警戒本部】基本配備2名を6名に増員(8:30)</p> <p>・南丹土木事務所除雪待機12名体制 (11:30)</p> <p>【京都府南丹地方雪害対策本部設置】 (13:30)</p> <p>【(主)舞鶴和知線(綾部市) 運行止(御木)】 (15:45)</p> <p>【(主)舞鶴和知線(綾部市) 運行止解除】 (18:40)</p> <p>【(主)京都河原美山線 運行止解除】 (7:00)</p> <p>・南丹土木事務所除雪待機19名体制 (8:30)</p> <p>・京都市消防へり出動要請(9:00)</p> <p>・京都市消防へりに道路職員が搭乗し、南丹市及び京丹波町上空から孤立集落及び道路状況を確認</p> <p>【(主)舞鶴和知線(京丹波町) 運行止解除】 (19:00)</p> <p>【京都府南丹地方雪害対策本部閉鎖】 (19:00)</p> <p>【災害警戒本部閉鎖】 (17:00)</p>	<p>【京丹波町仏主 孤立】 (4:00)</p> <p>【南丹市美山町佐々里・白石 孤立】 (6:00)</p> <p>【京丹波町災害対策本部設置】 (13:30)</p> <p>【綾部市陸寄町古屋 孤立】 (15:45)</p> <p>【(市) 音海橋線運行止(御木)】 (17:00)</p> <p>→ 【南丹市美山町音海 孤立】 (17:00)</p> <p>【(市) 西牧山線運行止(御木)】 (17:00)</p> <p>→ 【南丹市日吉町中世木牧山 孤立】 (17:00)</p> <p>【綾部市陸寄町古屋 孤立解除】 (18:40)</p> <p>【京丹波町仏主 消防団による支援物資の徒歩による搬入及び安否確認完了】 (19:35)</p> <p>【南丹市美山町佐々里～白石 孤立解除】 (7:00)</p> <p>【(市) 音海橋線運行止解除】 (15:00)</p> <p>→ 【南丹市美山町音海 孤立解除】 (15:00)</p> <p>【京丹波町仏主 孤立解除】 (19:00)</p> <p>【京丹波町災害対策本部閉鎖】 (20:35)</p> <p>【(市) 西牧山線運行止解除】 (16:00)</p> <p>→ 【南丹市日吉町中世木牧山 孤立解除】 (16:00)</p>	<p>京丹波町仏主他停電5軒[高圧線断線](3:58)</p>
2023年1月29日				
2023年1月30日				

(参考3) 令和5年1月24日からの大雪等に係る輸送障害の状況(JR西日本の資料より引用)

(概況)

1月24日(火)19時以降、東海道本線山科駅、京都駅、向日町駅で分岐器不転換(計21か所)が発生し、山科～島本駅間で計15本の駅間停止列車が発生させた。発生直後から分岐器不転換の解消を優先させる判断を行い復旧に努めたが、作業が難航し解消まで長時間を要したことから、乗客の方が体調不良を訴えられ計16名が救急搬送された。

駅間停止列車15本のうち、13本については最寄り駅または京都駅に収容するまでに最長5時間22分を要したところ。2本の列車については、乗客の中に体調不良者がいたことや、分岐器不転換の解消が困難となったため、22時50分に駅間停車判断を行った。



また、体調不良のお客様の救護を優先して列車から最も近い約300m離れた斜面の階段を用い一旦道路上への誘導を試みたが、階段の凍結等により大勢のお客様の誘導は困難と判断し、線路上を山科駅まで誘導するよう変更、全員の降車が完了したのは1月25日(水)5時30分となった。

(旅客の救護及び避難誘導活動について)



京都駅における降雪の様子



17時	18時
積雪0cm 気温-0.8度	積雪7cm 気温-1.8度
	



写真1 お客様救護の様子



写真2 避難誘導路の状況

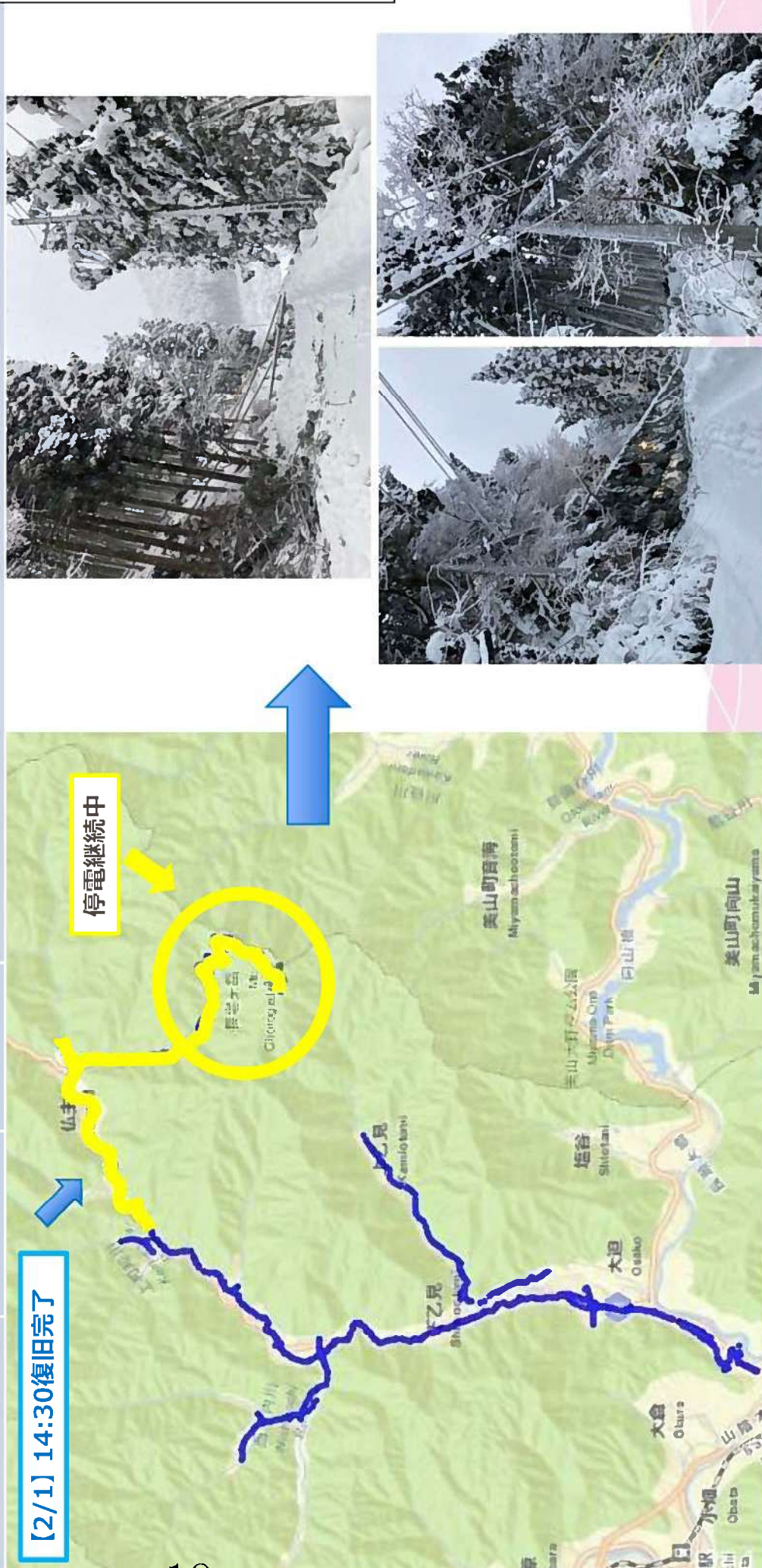


写真3 避難誘導の様子

参考／⑦ 京都府船井郡 京丹波町細谷、仏主 付近における状況

(参考4) 令和5年1月28日からの大雪等に係る倒木による停電の状況 (関西電力送配電株の資料より引用)

地域	停電件数	発生時間	停電事故の状況
京都府船井郡 京丹波町細谷、 仏主 他	(最大141軒) 5軒	1/28(土) 03:58	<ul style="list-style-type: none"> ○倒木に伴い、電柱の倒壊や高圧線の断線が発生。 ○京丹波町さまにて道路啓開作業いただいたエリアから、順次復旧作業実施。 ○仏主地区の一部は、高圧発電機車にて応急送電完了 (1/29 18:58送電) ○除雪完了個所の電力設備復旧完了、一部区間の送電完了 (2/1 14:30送電) ○長老ヶ岳の、防災無線・中継所等については、倒木多数により進入不可であり、復旧作業が難航。京丹波町さま、南丹市さま、警察局さま、オプテージさま、と協調し、道路啓開作業と併行して、電力設備の復旧作業を実施予定。



参考／現場の状況写真（1／2）



京都府南丹市美山町付近



京都府船井郡 京丹波町付近



徒歩による被害調査



徒歩による被害調査

京都市左京区大原付近



船井郡京丹波町上栗野付近



発電機による応急送電



スノーモービル等による作業

船井郡京丹波町坂原付近

参考／現場の状況写真（2／2）



京都府南丹市日吉町中世木付近



京都市右京区京北上弓削町付近



電柱折損の状況



電柱傾斜の状況



京都市右京区京北灰屋町付近